

# 妊 娠 期

女性の一生の中で妊娠期は女性ホルモンの影響により、う蝕（虫歯）や歯肉炎など口腔内にトラブルを起こしやすい時期です。

口腔内疾患に加え、歯周病菌、菌産生の炎症物質は、早産、低体重児出産の危険リスクとなり、う蝕菌は母子感染により生まれてくるお子さんのう蝕罹患リスクを高めます。

妊娠中における口腔内疾患の代表的なものとして、妊娠性歯肉炎があります。妊娠期は女性ホルモンの変化によって歯肉炎が発症しやすい状態にありお口の中の清掃状態が悪いと、この歯肉炎を引き起こすリスクが高くなります。



## 妊娠性歯肉炎



### （起こりやすい時期→つわり時期）

症 状：歯肉からの出血  
原 因：口腔清掃が不良  
治療法：基本的なブラッシングの強化  
歯石除去

## 〈妊娠中における歯科治療〉

- ・妊娠初期と後期は避ける。
- ・妊娠する前に治療または母体安定時期（妊娠第16週～28週）に行うのが望ましい。

## 〈口腔清掃〉

- ・ブラッシングの強化（奥歯は慎重に）
- ・歯科医院での定期検診、歯石除去
- ・つわり時期に歯磨剤が合わない時は、種類を変えてみたり、うがい薬、キシリトール等も併用するとよいでしょう。